

Thailand 行ってみたらこんなところでした

下関市立川中中学校 教諭 宮崎 元気

(平成 31 年度派遣 タイ バンコク日本人学校)

1. タイってどんな国？

基本情報

人口 タイ全土 6617万人 (首都バンコク 552万人以上 (全人口8.3%))

面積 51万4000km (日本の翌1.4倍)

言語 タイ語 (挨拶・数字・否定・疑問を大体覚えておけば何とかなるかもしれません)

体制 国王を置く立憲君主制の軍事政権 → 王様は、ラマ10世

ちなみに王様(王族)の色というのがあり、王様の色は“黄色”です。王様関係の祝日には黄色いポロシャツを着ている人がたくさんいます。

また、街には王様や王様のご家族などの巨大な写真や像などが多数あります。

交通事情

首都バンコクでは、街のつくりから慢性的に渋滞の状態が続いています。時間帯によっては本当に全く動かないこともあります。交通手段は非常にバラエティに富んでおり、対特有のもので言うとトゥクトゥク・シーロー・バイクタクシーなどがあります。そのほかにもタクシー・バス・スカイトレイン(BTSという名前)・運河で人を運ぶボートなどなど、実に様々な乗り物があります。渋滞の街バンコクでは、これらの乗り物を道路状況、時間帯、距離、目的などによっていかにうまく使い分けるかがスムーズに生活するためのカギです。(最終的にはタイの『マイペンライ』精神であきらめの境地に至ることも大切ですが。)



タイ料理

最近では日本でも割とメジャーになっているタイ料理。本場で味わったものはまさにソウルフード、ローカルフードといった印象でした。ものすごく端的に味を表すのであれば『辛い+酸っぱい+甘い+臭い=旨い!!』といった感じです。ソムタム・カオマンガイ・パッタイ・ヤムウンセン・コムヤーン・ガイヤーン・オースワン・・・挙げればきりがありませんが、大好きなタイ料理がたくさんできました。ビールはメジャーどころはシンハー・チャンなどがあり、タイではビールに氷を入れて飲むのが一般的なスタイルです。



買い物事情

タラートと呼ばれる市場が何か所もあり、野菜、肉、魚、果物、なんでも売っています。基本的には鮮度の良い物が並んでいると思いますが、生肉もあの暑いタイの日差しの下で生ざらしに売られているので、最後まで肉にはトライする勇気が出ませんでした。バンコクには巨大ショッピングモール（本当に想像しているよりも巨大です）があちこちに乱立しているといつていいくらい聳え立っており、どのモールにもハイブランドが入り、むしろ日本に住んでいたらなかなか手に入らなかったりお目にかかれなかったりするようなものもなんでも手に入るような都会っぷりです。日本人が非常に多く住んでいるため、日系のスーパー（通称フジスーパー）も数店舗あり、日本のものも容易に買えます（若干割高のものもありますが）。また、アラブ人街や、ワワラートと呼ばれる中華街もあり、タイではあるけれど買い物については多国籍に楽しめるといった感じです。



旅行（観光スポット）事情

タイにはとにかく美しいビーチリゾートがたくさんあります。パタヤビーチやプーケットなど日本でも耳なじみのあるビーチもいくつかあると思いますが、それ以外にも数多くの素晴らしいビーチが各所にあり、季節によって好条件のところを選ぶなどして楽しむことができます。また、アユタヤ遺跡を始め（バンコクからそんなに遠くなく、日帰りツアーなどもあります）、歴史的建造物も多くあります。仏教の国であることから数々の大きな寺院も有名です。バンコク市内にも有名な寺院がたくさんあり、気軽に訪問することができます。また、タイには有名なお祭りもあり、例えばラプンツェルのモデルになったコムローイ祭りなども人気です。ビーチ以外では日本という京都のような場所、チェンマイなどもおすすめ観光スポットです。



タイ人

『微笑みの国タイ』というだけあって、みんな基本的に人が良く、優しいです。顔を覚えるとすごくよくしてくれるし、気さくで乗りの良い人も多いです。また、子供にはとにかく優しく、BTS（スカイトレイン）に乗ると、必ず座っている大人が子供を呼んで席を空け、譲ってくれます。『マイペンライ』⇒『問題ないさ、大丈夫さ、なんてことなさ』というおおらかさがあり、最終的には全てを受け入れている雰囲気が漂っています。



タイってどんな国？まとめ

タイは、一言でいうと『カオス』。大都会のきらびやかさも貧困にあえぐスラムも、全てが一緒にそこにある。そのすべてを受け入れて、全ての人がそこにたくましく在る。それが肌で感じたタイです。

2. コロナ対策

制限は厳しく、軍事政権のため、“推奨”や“お願い”ではなく“命令”として体制が決まります。政府の命令により、病院・スーパー等以外のほとんどの事業所は一定期間閉鎖されました。この期間は本当に人が歩いておらず、店は閉まりっぱなしの状態。当然この期間に多くの店がつぶれたり、職を失ったりしたタイ人も多くいました。夜間外出禁止令の際には、夜10時以降に出歩いていると警察の取り締まりもありました。

学校も基本的にはタイ政府の指示に従って開く、開かないの判断をしなければならなりませんでした。

(1) コロナ後初の年度初め～教材配付問題～

令和元年度の3学期からコロナが本格的に蔓延し、令和2年度のスタートは学校が開けない状態でした。4月は休校。5月も学校は開けないが、オンラインによる授業を開始する準備を始め、いよいよ新しい形での授業が始まろうとしていましたが……。ここで大問題がありました。

授業を始めるにも、新年度の教科書等の教材を渡せていない！！

配布するに当たりバンコク日本人学校が抱える問題点

- ・タイはその交通時事情等から、ほとんどの生徒がバス通学及び、一部生徒は車による通学。
- ・規模の大きさや、教員による運転が認められていないため、家庭訪問等も難しい。
- ・コロナが蔓延している状況の中で、保護者に学校へ取りに来てもらおうことの抵抗感。一体どうしたらいいんだろうと悩んだ結果我々がたどり着いた答えは、**ドライブスルー教材配付**でした。

教科書の配付について

令和2年4月

各校主任保護者の皆様

毎日 協会 学校

皆様より学校へのご理解、ご協力といただき大変ありがとうございます。

5月1日の在宅学習開始にあたって、下記事項にて教科書等の配付を行いたいと考えております。保護者の方にもご足元いただきますが、どうかよろしくお願いいたします。



車から降りることなく教科書などを受け取れます。



ブルーシートや机の上に教材セットを並べて、車を受け入れます。

令和2年度 教科書等 配布手順

【事前確認事項】

- 全席で3クラス級生
- 各クラスにはその学年の教科書セット（一般セット）を均等に準備しておく。
- クラスの後ろに『兄弟セット』をクラス前に準備しておく。
- 各クラスには、各チエック係（その学年の全クラス各席を準備）、教科書渡し係が常駐する。
- 1～2人で保護者（車窓口）対応
- その他、準備係が各席所収票（協力票）を渡す
- もしも足りなくなった時のためのバックアップ係
- 全学年教科書は、前日までになるべくクラス付近教室に入れておく（なまよし・ふれあい付近）

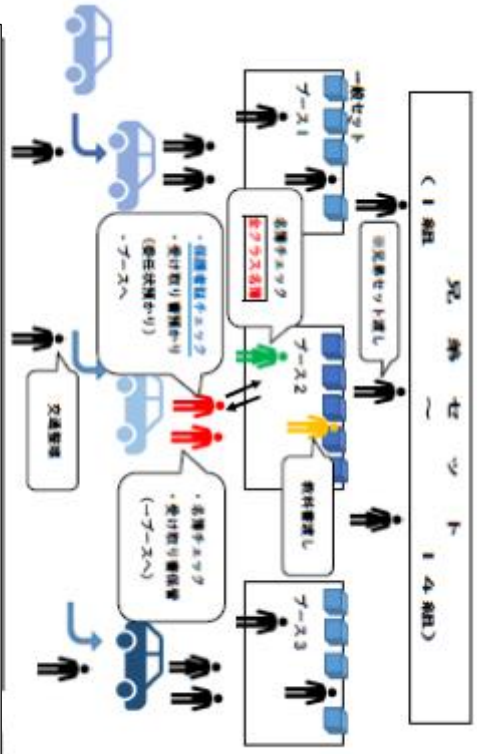
【受け渡しの流れ】

- ① 保護者対応（車窓口）（2人：クラス行き来1人） → クラス
 - ・保護者証を見せてもらう。（車窓口 2人）
 - ・受け取り書渡した人ばかり、もう一人が各席にチエック。
 - ・委任状があればこのときに一緒に受け取る。
 - ・受け取り書（十委状）を身ながら、クラスに帰クラス、各席を伝える。
 - ※一般セットの場合は、基本『一般セット1です』と伝える。
 - ※兄弟セットの場合は、『100冊〜君セットお願いいたします』と伝える。
- ② クラス（2人：各チエック1人、教科書渡し1人）
 - ・クラスの各席チエック係は、各席にチエックする。
 - ・クラスの教科書渡し係は、必要な冊数の教科書セットを選ぶ。
 - ※兄弟セットの依頼があった場合は、後ろにいる兄弟セット係が降りて渡す。
- ③ クラス → 車窓口
 - ・クラスで教科書を受け取った保護者対応係は、それを車の保護者へ渡す。
 - ・『間違いなく受け取ったということで、受け取り書をこちらで回収いたします。』
 - 回収した受け取り書はもう一人に渡し、もう一人がクリアファイルに保管していく。
 - ※ある程度進んだら、奥きタイミソでクラスの各席係に渡す。
- ④ 見送り、受け入れ
 - ・『本日はわざわざすみません、ありがとうございました。お気をつけてお帰りください』と云って、クラス前の交通整理係に車が出ることを伝える。
 - ・交通整理係は、他のクラスの車が動かないか、入ってくる車がないかを十分に確認し、車を誘導する。
 - ・交通整理係は、クラスの状況を見て、次の車を入れる。
 - ※セコムスタッフも各席か交通整理に入ってくれると思いますが、特にクラス付近での車の出入りについては、慎重にお願いします。

【準備物】

- 各クラス・・・チエック用全クラス名簿（ワーカー）、教科書セット（一般セット）
- 後ろテーブル・・・『兄弟セット』＝事前に兄弟関係を把握し、必要な学年の教科書セットとまとめたもの、クラス前に置く、取り紙で名前を示すなどし、書かれたらすぐに渡せるようにしておく。
- 保護者対応・・・チエック用全クラス名簿（ワーカー）、教科書まとめたクリアファイル。
- 『受取書』を印刷するのは必要ではないが、[委任状]により、不慮の場あつた場合はあらかじめ受取書を作成
- クリアファイル

【教科書配布イメージ】



※敷地内図と順路がありますが安全上の問題のためカットします。

当時教材配付を主担当した際、小中学部全体に教材配付のシステムを説明した際に行った資料。配布は学年によって日にちと時間を分け、新年度のため名前のアイウエオ順で割振って計算した。

(2) コロナに伴う『新しい生活様式』づくり

当時、生徒指導主任として、コロナに伴う学校生活様式づくりに携わらせていただきました。文科省から出てくるものと、タイ政府から降りてくるものを確認しながら内容を決めて行きました。生活様式も、日々変わる情勢によって、月や学期によって見直しを行い、マイナーチェンジしながら何パターンか作成しました。

新しい学校生活様式

基本的な学校生活様式

- ・人との間隔は1m以上（両手を広げても当たらない距離）空けてください。
- ・自名簿（学校・バス等）では、必ずマスクをしてください。
- ※マスクを着用していない場合は、消毒バスに消毒しません。
- ※**基本生活様式** 清潔なハンコチ・ティッシュ・マスク・マスクを置く際の清潔なビニール袋等
- ・丁寧な手洗い・消毒をしてください。
- （※登校時・休み時間等に、30秒程度だけ、水と石鹸、消毒ジェルで丁寧に。）

朝・登校時

- ・登校、登校前に自名簿を確認してください。（※登校時刻表記入→毎日学校へ持参）
- ・バス乗降時には、モーター音による検温があります。37.5℃以上あった場合は乗車できません。
- ・バスは、席の間隔を空けてください。バスの中での会話は必要最低限にします。
- ・学校に遅いなら、バス乗降の人はサーマルカメラ、自動検温装置は検温計による検温をしてから校舎に入ります。37.5℃以上あった場合は入校できません。

学校（授業・休み時間・施設利用等）

- ・廊下は右側通行を守って歩行してください。
- ・階段は、上り専用・下り専用を分けて歩行してください。
- ※**全館空室確保**で、上り専用・下り専用期間として稼働可。
- （※バスケットボールコートのみ、上り・下り専用、ただし右側通行→）
- （※下校時のみ、すべての施設を右側専用として利用して下さい。）
- ・教室は、前扉が入口の専用、後扉が出口の専用として稼働してください。
- ・教室では、基本的に自席で過ごしてください。（※1m以上を確保する）
- ・ロッカー等を利用する場合は、指定された場所を利用してください。
- ・教室のドアは常に開放しておく。窓は休み時間閉めてください。
- ・教室外でも人との間隔は1mを空けてください。（※階段、トイレ、廊下、ベンチ等）
- ・登校日は、基本的に自分の教室があるフロアで過ごしてください。
- ・個人の物の持ち運びはしないでください。
- ・友達とコミュニケーションをとる場合は、触れることなく会話してください。
- ・授業での話し合い等は、先生の指示に従い、机を動かさずに机間で行ってください。
- ・電気スイッチやリモコン等の操作は先生にしてもらうようにしてください。
- ・途中で体調がすぐれなくなった場合は、すぐに先生に見知らせ、検温をしてください。
- ・休み時間の施設利用時間中は、1学期中は中止します。

下校時

- ・下校時、みんなが色々と空室することが多いよう、階段を待つよう注意してください。
- ・バス乗降の人は、下校バス乗降前にもモーター音による検温があります。37.5℃以上あった場合は乗車できません。
- ・バス往復、バス内での過ごし方は登校時と同様にしてください。

バンコク日本人学校の新しい生活様式

令和2年6月
春日館金学校

◇基本的な学校生活様式

- ・人との間隔は**最低1mの確保**。（手を広げても当たらない距離）
- ・学校、バス等の自名簿外では**必ずマスク**。（※基本生活様式は必ず着用してください）
- ・丁寧な手洗いと消毒。（登校後、休み時間、下校前、**30秒程度**だけ、**水と石鹸**、**消毒ジェル**で丁寧に。）

◇登下校

- ・バスは、席の間隔を空けて乗車。バスの中での会話は必要最低限で。
- ・自宅（健康告知書）・バス乗降前（モーター音）・レインボーゲート（サーマルカメラ）で**3回目の体温チェック**。
- ※登下校の際、通学バス乗降時の検温で**37.5℃以上あった場合には乗車できない**。
- ・自動車乗降状況は、自宅（健康告知書）・レインボーゲート（検温計）で**2回目の体温チェック**。
- ※レインボーゲートでは、**自席を自分で検温**を行う。検温で**37.5℃以上あった場合には入校禁止**。

◇教室環境

- ・市心棟棟の机の配置。
- ・毎授業時間終了後に**シニア・平すの運動**。（タイムアップ）
- ・教室内の**温度センサーは常に動作**が確認する。
- ・毎休み時間に窓を開けて、換気。登校時から下校時まで、**教室に人がいない状態**。

◇授業・学校生活

- ・新しい生活様式は**授業前**で。
- ・着て使うものに触れたら、手洗い・消毒。
- ・個人の物の**持ち運びの禁止**。
- ・友達とコミュニケーションをとる際には、**触れることなく**会話と交際する。

◇休み時間

- ・移動は**最小限**、外扉は**必ず**と一緒のクラスを戻られた場所まで。
- ・10分休みは基本教室の**自分の席まで過ごす**。移動は手洗い・消毒、トイレのみ。
- ・廊下は**右側通行**、階段は**一方通行**。
- ・友達とは**手と手が触れない**、触らない。

＜参考資料＞
 文科省発表 学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～
 タイ国政府 学校実施要綱のガイドライン

(3) コロナ感染が出た場合のガイドラインづくり

また、新型コロナウイルス感染症が学校内で出た場合のガイドラインについても、担当させていただきました。当時タイ政府からの通達が日々変わっていく状況の中で、繰り返し内容を吟味しながら、バンコク日本人学校のタイ人ディレクターや管理職との検討を何度となく重ね、作り替えつつ、保護者に示すタイミング等についても考えました。これによって校内での感染状況や学校の運営、保護者対応等に大きく影響するため、神経を使いました。

タイ政府のからの通達をその都度確認しながら、ガイドラインの内容も最初に作ったもの（次ページ上）から徐々に変化させ、最新の状況に合うようにした。次ページ下は2021年12月のもの。

新型コロナウイルス感染者が発生した場合のガイドライン（バンコク日本人学校）①



感染者は無症状でも14日間の隔離となる。
 ハイリスク感染者・ローリスク感染者については、タイ保健省から指定される。また、ローリスクでも保健省の指示があればPCR検査を受ける。

コロナ感染におけるハイリスク・ローリスク感染者一覧

児童生徒感染の場合	教職員感染の場合	児童生徒・教職員感染の場合	卒業生・保護者・関係者による感染の場合
ハイリスク感染者 学校 学級 部活動 校舎外 ハイリスク者との接触 運動場 スクール	ハイリスク感染者 学校 学級 部活動 校舎外 ハイリスク者との接触 運動場 スクール	ハイリスク感染者 学校 学級 部活動 校舎外 ハイリスク者との接触 運動場 スクール	ローリスク感染者 学校 学級 部活動 校舎外 ハイリスク者との接触 運動場 スクール

新型コロナウイルス感染者が発生した場合のガイドライン（バンコク日本人学校）



各学級児童生徒等については、保健観察期間の指示によって決定する。
 感染者は無症状でも14日間の隔離となる。
 ハイリスク者・ローリスク者については、タイ保健省から指定されることになっており、また、ローリスクでも保健省の指示があればPCR検査を受けることもあり、
 14日間は、感染発の発症から14日とする。
 学校で感染発が起った場合の対応については、保健省の指示による（学級関係以上の対応もあり得る）。
 卒業生等への対応がある場合は、状況に合わせて対応による授業を実施する。

3. 授業実践

1年目 対面授業による STP (Student Teacher Project) の実施

令和元年度バンコク日本人学校の研究主題『問題を発見し、対話的な学びを通して解決する児童生徒を育てる』を目指す上で、生徒の思考スキルを意識的に使った、主体的・対話的で深い学びに結び付けていく授業づくりについて考えました。そこで、ブルームの教育目標の分類体系（改訂版）(Anderson&Krathwohl, 2001) を参考にした授業づくりに焦点を当てる

こととしました。

ブルームの教育目標の分類体系（改訂版）（Anderson&Krathwohl, 2001）では、思考レベルは、記憶(Remembering)、理解(Understanding)、応用(Applying)、分析(Analyzing)、評価(Evaluating)、創造(Creating)に分けられるとしています（図1）。

例えば、単語を覚えたり教科書の本文を暗唱できたりするようになることは「記憶」、文法のルールを利用して問題を解いたり意味に合うように英文を作ったりすることは「理解」、学習したことを用いて初見の英文の意味がわかったり、組み合わせたりできることは「応用」、会話や説明文から状況や登場人物の心情を推測したり文脈を読み取ったりすることは「分析」、スピーチやプレゼンテーションを聞いて、印象に残ったことやその理由を述べたりすることは「評価」、（それまでのことを踏まえて）自分の考えや意見を明確にしたり、伝わりやすく発信したりできることは「創造」、という当てはめ方ができます。



これらのことからわかるように、思考レベルは記憶を底辺にして、創造が一番上に位置する。単語や熟語の意味を確認し覚えさせ、本文の内容をQ&Aなどで答えるなどして理解したら終わり、といった授業では、思考スキルの下位の部分（Lower Order Thinking Skills(LOTS:下位思考スキル)の『記憶』と『理解』しか扱われていないことになり、思考が深まらない授業となってしまうがちです。逆にHigher Order Thinking Skills(HOTS:上位思考スキル)を意識的に組み込めば、思考の深まる創造的な授業を実現することが可能になってくるということになります。この考え方をもとに、創造（Creating）にあたる課題を『頂上タスク』（1つの単元で生徒が達成すべきcreativeな課題）（三浦ら，2016）とし、それに向かって下位の思考レベルから徐々に課題を積み上げていく形で授業を作れないかと考えました。さらにその中で、令和元年度中学部研究副主題『SDGsを意識した横断的な学習でグローバルな視点を養う』に沿った内容にしていくことを検討しました。

次に示すように、1年間を通して、頂上タスクに向けて小タスク（示してあるのは一部）を積み重ねていくイメージで授業を展開しました。ただし、頂上タスクへのつなぎとなるよう、各小タスク内にも『応用』や『分析』の基礎に当たるような要素を取り入れるよう意識をしました。



1学期 SDGsについて考えよう

～英訳プロジェクト・ポスター作りを通して～



3学期 自分たちが考えたUDについてプレゼンしよう↑

←
2学期
生徒による授業
(STEP)



頂上タスク 既習事項を用いて、自分たちの考えたユニバーサルデザインについてプレゼンテーションしよう。(3学期)



- 小タスク (2学期) 自分たちで英語の授業をしよう ～より深い理解を目指して～
- 小タスク (2学期) プレゼンテーション力を身につけよう ～型を利用して～
- 小タスク (2学期) プレゼンテーション力を身につけよう ～自分たちで内容を作る②～
- 小タスク (2学期) プレゼンテーション力を身につけよう
～評価基準を考慮したプレゼンテーションづくり②～
- 小タスク (2学期) 基礎基本を身につけよう (通常授業)



- 小タスク (1学期) SDGsについて考えよう ～英訳プロジェクト・ポスター作りを通して～ (『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』)
- 小タスク (1学期) プレゼンテーション力を身につけよう ～自分たちで内容を作る①～
- 小タスク (1学期) プレゼンテーション力を身につけよう
～評価基準を考慮したプレゼンテーションづくり①～
- 小タスク (1学期) 基礎基本を身につけよう (通常授業)

頂上タスクへ向けた取り組みの中の、一つの中心的な取り組みとして、生徒による授業の実施を計画しました。他の生徒に教えることによって、学習内容をより深く理解し、目標事項の習得の質を高めること、また、他の生徒がどのようにすればわかりやすいか等について、生徒同士の対話を通して課題を解決することを目的としました。この取組は、ブルームの教育目標の分類体系の中の『応用』『分析』『評価』『創造』といった思考スキルの使用の基礎となるのではないかと考えました

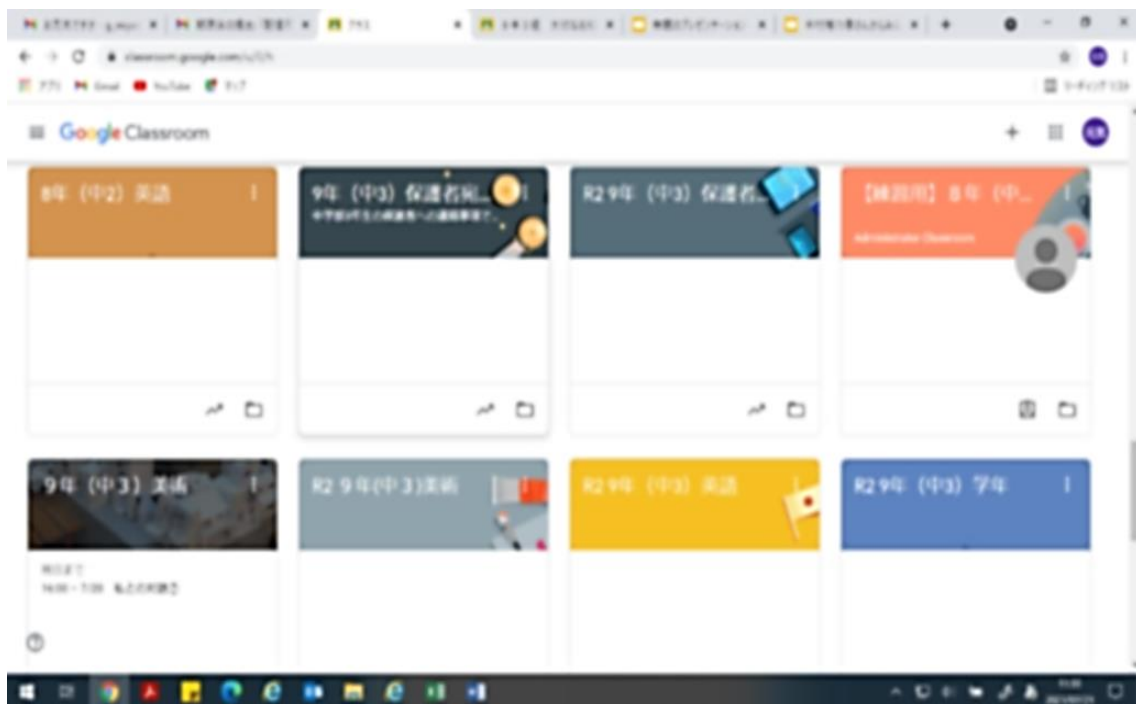
2年目 オンデマンド型中心にスタートした新しい授業 (Google Classroom を用いて)

Google Classroom を活用し、各教科のクラスルームに生徒が所属して、クラスルームに挙げられた課題に取り組み、Google Classroom 上に提出する形からスタートしました。

最初は簡単な課題をメインとしてスタートしましたが、各教科で教員の生徒への思いが大きくなっていくのに比例して、凝った動画や課題が増しました。内容の充実は図られたが、教員の負担は徐々に大きくなっていきました。また、それに伴い、教員側の授業づくりの上でのルール等の課題も出てきました。

⇒ さらに、オンデマンドと Meet の生配信を並行して実施していかなければならない状況下において、教員の負担がさらに大きくなった時期があり、様々な課題が出ました。

また、Google Classroom 上で学習をするに当たり、学習上の注意の作成を行い、情報モラルを含めた指導を行った。



バンコク日本人学校
Google Classroom 等の利用による在宅学習について (お願い)

生徒の皆さんへ

今回皆さんが使用する Google Classroom 等のツールは学習を目的とするものです。皆さんが家にながらもちろんと必要能力を身につけられるよう、以下の内容をよく確認し、学校から発信された方法や内容に沿って、学習を進めるようにしましょう。

- ① 皆さんに与えられる『アカウント』はとても大切なものです。取扱いに注意しましょう。また、自分の学年以外のクラスルームには参加しないでください。(兄弟等で利用する場合は、十分注意してください。)
 - ② クラスコードを学校関係者以外の人に知らせたり、譲渡したりすることは絶対にしないでください。
 - ③ Google Classroom で学習する内容には、個人情報を含んだり、取り扱いに注意しなければならなかったりするものがあります。映像や画像、その他クラスルーム内で取り扱われる内容について、複製(内容のコピー、クラスルーム内の書きや動画の撮影・録音等の行為)したり、SNS 等外部へ発信したりすることは絶対にしないでください。
 - ④ 学習内容によっては、Google Classroom 外で動画を見たり、画像を複製したりすることがあると思います。その他、有害なコンテンツを含むものや安全ではないものには十分注意してください。
 - ⑤ 授業や学校活動に関与しないことや、他の人が不快に思うことは公認しないでください。
 - ⑥ レポート等の課題に取り組み、複製(他人が作った著作物をコピーペーストして、自分が作ったものとして使用してしまうこと)等はしないでください。
 - ⑦ 学校再開時に提出できるよう、在宅学習で扱った課題・ノート・記録等については、きちんと整理して保管しておきましょう。また、日々の振り返り学習にも活用しましょう。
- ※上記①②に関しては、最悪の場合、アカウントを凍結することもありますので、十分注意してください。

在宅学習で利用する Google Classroom は学校(教室)と同じです。この状況の中で、みんなが集まり、一緒に勉強できる大切な場所です。顔を合わせているとき同様、お互いのことを考え、想像し、ルールやマナーを守って、気持ちよく過ごせるようにしましょう。

保護者の皆様へ

この度のコロナウィルスの影響により、お知らせの通り Google Classroom を使った在宅学習が始まります。保護者の皆様のご理解とご協力のおかげです。ありがとうございます。

さて、在宅学習について、上記の通り、生徒たちに気を付けてほしいことをいくつか示させていただきました。生徒自身が試行錯誤し、自分で正しく判断し、主体的に学習を進めてくれることを期待しています。しかしながら、まだまだ成長過程の中生です。ポイント、ポイントで保護者の皆様のサポートも必要になってくるかと思えます。ましてやほとんどの生徒がはじめて経験する在宅学習において、情報モラルや、ネット上でのマナーなどについて理解不足の点も多々あるかと思えます。学習以外の問題に生徒たちが悩まなくて済むようにしたいものです。

保護者の皆様には、学習のサポートはもちろん、上記の内容等に関しても、見守りとご指導をいただきますようよろしくお願いいたします。また、保護者の皆様ご自身におかれましても、上記内容をお守りいただけますよう、ご協力をお願いいたします。



↑ Google Classroom 内に各学年、各教科のクラスルームがあり、それぞれの授業に課題がアップされる。それを生徒が開き、課題を提出していく。授業動画等も加わるようになり、Google 内の様々なツールも活用されるようになっていった。

← オンラインによるリモート学習が始まる段階で内容を精査し、作成に当たった。小学部でも、読み仮名付きの同内容のものを配付。保護者への協力の呼びかけも掲載した。

慣れてきたタイミングで生徒指導上の問題も浮上し、これらのことをもとに、生徒会と生徒指導部でタイアップして対談形式の道徳教材動画を作って全校道徳を実施した。

3年目 オンライン配信型で双方向型の授業へ (Google Meet 等の活用)

オンデマンド型からオンライン配信、さらにハイブリッド型と、授業形態は大きな転換期を経て、様々な可能性を広げ、教室で授業しているのと変わらないレベルを目指した新たな形を求めた。オンライン授業及びハイブリッド形式(一部は学校で、一部は家からリモート)で授業を進める中で以下のような取り組みを行った。

出欠確認 ⇒ チャット機能を使って、生徒番号を打ち込む

ウォームアップゲーム ⇒ 挙手ボタンやチャット機能の活用

You Tube 画面共有で好きな洋楽紹介

教科書 ⇒ デジタル教科書の画面共有

コミュニケーション活動 ⇒ Meet の小部屋をいくつか準備し、リンクを示して小グループへ(教員は机間巡視の要領で、各小部屋の Meet に入っていく)

ハイブリッドへの対応 ⇒ 複数台のタブレットを用いて(授業を映すもの、クラスを映すもの、話し合いでグループに割り当てるものなど)

⇒ ペア活動もグループ活動も、教室にいる生徒がタブレットの中にいる友達を連れて行ってやり取りする。在宅の生徒が授業から作戦会議の Meeting まですべてリモートで参加し、英語のディベートの授業にも参加しました。

プレゼンテーション ⇒ Meet をつないで、それぞれの生徒が画面共有したり、複数台のタブレットを使って自分を移したりしながら実施。

4. おわりに

平成 31 年度(令和元年度)派遣で、初年度 3 学期からコロナの蔓延が始まり、2 年目からは子どもたちに会えない学校で、日本人学校・タイならではの問題や課題に対応する苦労も抱え、大変な日々もありました。しかし、その中で最大限知恵を絞り、バンコク日本人学校という大きな組織でそれを 1 つにしていく難しさも経験しつつ、最後は子どもたちのために前を向いた 3 年間でした。自分たちがやってきたことを一度壊したり、若い力やアイデアに耳や目を向けたりしながら、不可能かと思われることを実現させたこともたくさんあったと思います。そこには、環境に不平や不満を言うのではなく、今できることを精一杯やろうとする前向きな子供たちの姿がありました。彼らに心から勇気づけられ、元気をもらい、感動もたくさん味わって、コロナに負けない最高の時間を過ごすことが出来たと思います。全国から集まった先生方と子供たち。そしてたくましくタイという国。それらすべてが交わって、刺激的で魅力的な日本人学校生活を送ることが出来たと思います。これらの経験を自分の糧に、今後も進んでいきたいと思っています。

コップン クラブ。